

こちら

議会広報部

2009.10 発行 / 周防大島町議会
〒742-2192
周防大島町大字小松126-2
TEL: 0820-74-1003(議会事務局)
第19号 編集 / 議会広報編集特別委員会
印刷 / (有)日良居タイムス

今回の主な内容

9月定例会	1~ 6P
委員会報告他	7~ 9P
一般質問 4名	10~11P
その他	12P



実りの秋(西屋代)



統合後初の運動会(東和中)

9月定例会

平成20年度の決算を認定。

一般会計補正予算(歳入歳出それぞれ)9億657万9千円を追加し
総額161億2,530万2千円とする。

平成21年第3回定例会(9月定例会)が9月4日から17日までの14日間の日程で開かれました。

議案について、町長提出分では決算認定13件(3常任委員会において所管部分を付託審査)一般会計、特別会計の補正予算、都合12件と条

例の一部改正2件、動産の買い入れ1件、工事請負契約5件、和解に関する件1件と過疎計画の変更1件の全35件を原案通り可決しました。

一般質問には、4名が登壇し、新型インフルエンザ対策など9つの項目について質問をいたしました。

9月定例会 平成20年度 決算を認定

一般会計 歳入 140億9,485万5千円
 歳出 136億3,593万1千円
 (翌年度に繰り越すべき財源 1億500万9千円)
 実質収支額 3億5,391万5千円の黒字

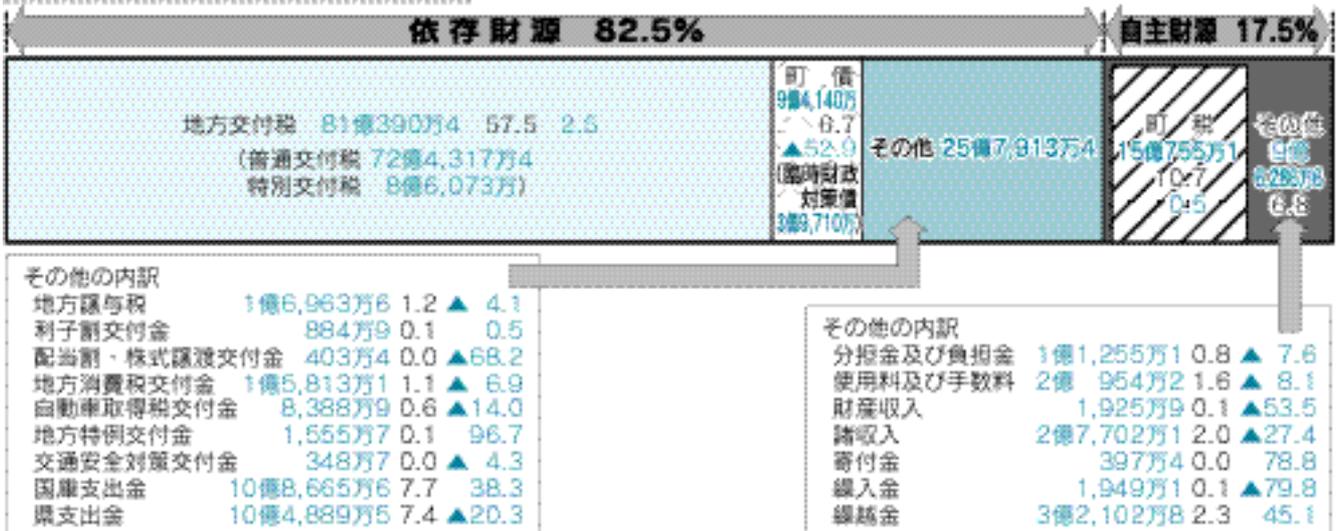
※平成20年度の財政分析指標※

	平成19年度	平成18年度
財政力指数(単年度)	20.9%	20.7%
実質収支比率	3.7%	2.2%
経常収支比率	95.2%	98.8%
公債費比率	15.3%	18.1%
起債制限比率	14.8%	15.6%
公債費負担比率	23.9%	25.3%
実質公債費比率 (特別会計を含む)	20.8% (3カ年平均)	21.3%
将来負担比率	20.1% (単年度)	21.4%
	176.9%	-
	187.6%	-

歳入の状況(一般会計)

平成20年度歳入合計 140億9,485万5千円 100% ▲6.5%

科目 決算額(千円) 構成比% 対前年度比%



歳出の状況(一般会計)

平成20年度歳出合計 136億3,593万1千円 100% ▲7.6%

(性質別歳出)

科目 決算額(千円) 構成比% 対前年度比%



Eye& 平成20年度の歳入決算額は、収入未済額が総額で12億4,258万3千円となっているが、これは、繰越明許費の10億8,115万円の未収入が大きな要因であり、これを差し引いた実質の収入未済額は、1億6,143万3千円である。町税収入の収納率は現年課税分で、98.2%となっている。歳出決算額は予算現額に対し90.1%の執行率で前年度

に比べ6.3ポイント下回っている。義務的経費は、前年度と比較すると、総額で2億7,445万9千円の減となっている(歳出総額に占める割合は約48%、対前年度比4.0%)。投資的経費は、一般廃棄物処理施設等の完成、漁港事業の減少で、前年度比46.5%となっている。物件費は、清掃センターや環境センター等の業務委託経費等の増により、2,079万9千円、1.6%の増となっている。

平成20年度 特別会計決算状況

(千円)

会計名	歳入		歳出	
	決算額(千円)	対前年増減率%	決算額(千円)	対前年増減率%
国民健康保険	33億6,894万4	10.3	32億6,406万	12.3
後期高齢者医療	4億3,063万	皆増	4億3,020万4	皆増
老人保健	5億2,887万8	89.1	4億7,556万	90.2
介護保険	30億 585万6	2.1	29億3,663万4	1.5
簡易水道	11億3,694万3	7.0	11億3,694万3	7.0
下水道	4億6,108万	18.9	4億6,104万5	18.9
農業集落排水	3億5,173万2	18.4	3億5,173万2	18.4
漁業集落排水	4,031万1	1.0	4,031万1	1.0
渡 船	1億9,046万6	157.1	7,757万6	4.7
計	95億1,484万	30.8	91億7,406万5	32.8

各特別会計の概要

国民健康保険事業特別会計では、歳入の主なものを決算額構成比で見ると、国民健康保険税15.6%、国庫支出金23.2%、前期高齢者交付金27.4%、療養給付費等交付金8.0%、共同事業交付金13.3%、一般会計からの繰入金7.7%となっている。歳出では、保険給付費59.9%、共同事業拠出金11.4%が主なものである。

後期高齢者医療事業特別会計では、歳入については、後期高齢者医療保険料63.5%、一般会計からの繰入金36.5%となっている。歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金93.7%、総務費6.3%となっている。

老人保健医療特別会計では、歳入については、支払基金交付金44.4%、国庫支出金36.4%、県支出金8.6%、一般会計からの繰入金6.7%となっている。歳出では、医療諸費95.8%が主なものである。

介護保険事業特別会計では、歳入については、保険料11.9%、国庫支出金26.7%、支払基金交付金28.9%、県支出金14.6%、一般会計からの繰入金17.7%となっている。歳出では、保険給付費91.9%が主なものである。

簡易水道事業特別会計では、歳入では、一般会計からの繰入金48.4%、使用料38.1%、町債13.3%で、歳出では、公債費48.6%、受水費51.4%となっている。

各基金の増減

	H20.5末現在高	増減高	H21.5末現在高
財政調整基金	13億1,072万3	1億6,086万9	14億7,159万2
減債基金	1億6,730万2	1,162万3	1億5,567万9
県収入証紙購入基金	300万		300万
奨学資金貸付基金	4,237万3	16万7	4,254万
福祉振興基金	2億7,836万6	145万3	2億7,981万9
国民健康保険基金	1億3,155万	22万8	1億3,177万8
介護給付費準備基金	9,459万6	1,559万7	7,899万9
ふるさと創生基金	6,725万6	1億8,029万7	2億4,755万3
土地開発基金			
(土地)	9,054万4	936万6	8,117万8
(現金)	988万1	2,944万5	3,932万6
合計	1億 42万5	2,007万9	1億2,050万4
中山間ふるさと水と土保全基金	3,113万1		3,113万1
ちびっこ医療助成事業基金	4,937万7	2,460万	7,397万7
観光振興事業助成基金		6,269万5	6,269万5
介護従事者処遇改善臨時特例基金		1,816万8	1,816万8

地方債の状況

(千円)

区分	H19年度末現在高	H20年度発行額	H20年度元利償還金			H20年度末現在高
			元金	利子	計	
一般会計	250億8,573万3	8億7,460万	23億3,695万3	4億9,267万4	28億2,962万7	236億2,338万
簡易水道	42億5,130万5	1億5,130万	4億5,400万	9,812万1	5億5,212万1	39億4,860万5
下水道	19億9,515万2	1億6,570万	1億3,177万1	3,850万3	1億7,027万4	20億2,908万1
農業集落排水	22億1,343万4	9,360万	9,029万	3,763万3	1億2,792万3	22億1,674万4
漁業集落排水	1億5,909万6	1,670万	530万7	398万	928万7	1億7,048万9
渡 船	679万9	0	359万8	20万9	380万7	320万1
公営企業局	69億5,617万8	1億4,040万	4億8,029万5	1億6,523万	6億4,552万5	66億1,628万3
計	406億6,769万7	14億4,230万	35億 221万4	8億3,635万	43億3,856万4	386億 778万3

平成20年度 公営企業局 事業概要

事業収益は、42億9,193万4千円の予算総額に対し、39億303万4,317円の決算額となっている。事業費用は、予算額42億8,754万1千円に対し、41億2,027万3,235円となっている。また、医業収益の30億6,205万3,921円に対し、医業費用は39億1,318万8,149円で、8億

5,113万円余りの医業損失を出している。また、医業外収益は8億4,098万396円に対し、医業外費用は2億4,319万1,539円となっており、純損失（赤字）は、2億5,334万5,371円で、前年度と比較して1億9,424万円余り悪化している。

収益的収入及び支出

	総収益（千円）	総費用（千円）	
東和病院	14億5,346万9	15億8,727万5	東和病院では、75.4%の病床利用率で、入院患者数・外来患者数ともに減少している。 橘病院では、86.6%の病床利用率で、入院患者・外来患者数ともに減少している。 大島病院では、59.9%の病床利用率で、入院患者数は増加し、外来患者数は減少している。 やすらぎ苑では、入所者数・通所者数ともに増加している。 さざなみ苑では、入所者数は減少し、通所者数は増加している。
橘病院	6億5,691万	7億 157万8	
大島病院	10億 615万1	10億6,263万8	
やすらぎ苑	2億4,177万1	2億6,703万9	
さざなみ苑	3億2,468万1	3億3,739万6	
看護学校	2億2,005万3	2億 45万5	

公営企業局 事業実績

		平成20年度	平成19年度
東和病院	入院患者数	36,047人	39,620人
	1日平均入院患者数	99人	108人
	平均入院日数	69.1日	62.4日
	病床利用率	75.4%	82.6%
	外来患者数	53,998人	62,188人
	1日平均外来患者数	222人	254人
橘病院	入院患者数	11,383人	12,712人
	1日平均入院患者数	31人	35人
	平均入院日数	41.3日	53日
	病床利用率	86.6%	97.0%
	外来患者数	32,738人	38,204人
	1日平均外来患者数	135人	156人
大島病院	入院患者数	21,639人	20,987人
	1日平均入院患者数	59人	57人
	平均入院日数	71.9日	90.9日
	病床利用率	59.9%	57.9%
	外来患者数	35,461人	37,155人
	1日平均外来患者数	146人	152人

		平成20年度	平成19年度
やすらぎ苑	入所者数	17,768人	17,574人
	1日平均入所者数	49人	48人
	入所利用率	97%	96%
	通所者数	1,981人	1,821人
	1日平均通所者数	8人	7人
さざなみ苑	入所者数	24,852人	25,575人
	1日平均入所者数	68人	70人
	入所利用率	85.1%	87.3%
	通所者数	2,539人	2,284人
	1日平均通所者数	10人	9人

		平成20年度	平成19年度
看護学校	1学年（定員35人）	41人	37人
	2学年（定員35人）	37人	41人
	3学年（定員35人）	39人	36人
	計	117人	114人

合併特例債実績

（千円）

合併特例債総額	120億7,400万	H20年度合併特例債充当額
H16年度充当額	0	長浦スポーツ海浜スクエア整備に5,040万円、廃棄物収集車に1,280万円、議会中継映像配信システムに170万円、東和中改築に1,130万円、合併支援道路整備に330万円、防災行政無線に7,170万円、中山間地域総合整備に130万円、大島病院移転新築に4,880万円の合計2億130万円を充当。
H17年度充当額	1億 710万	
H18年度充当額	13億 800万	
H19年度充当額	10億4,260万	
H20年度充当額	2億 130万	
残 額	94億1,500万	

広域市町村合併支援特別交付金（県費）実績

（千円）

補助総額	4億	H20年度充当額
H16年度充当額	0	防災行政無線に2,140万円、東和中改築に60万円、議会中継映像配信システムに10万円、中学校統合に390万円の合計2,600万円を充当。
H17年度充当額	5,419万3	
H18年度充当額	1億4,264万9	
H19年度充当額	1億1,450万	
H20年度充当額	2,600万	
残 額	6,265万8	

平成21年度9月 補正予算の概要

地域活性化・経済危機対策臨時交付金対象事業

(千円)

事業概要	主管課	予算額	財源内訳				
			経済危機対策交付金	国庫補助金	県補助金	町債	一般財源
7月補正 (地域活性化・経済危機対策臨時交付金) 対象事業合計		8億8,903万7	6億1,080万	2,365万1			2億5,458万6
情地区燃油施設改良事業補助 浮島地区冷凍保存庫整備事業補助	水産課	489万5	440万				49万5
潮風呂改修	商工観光課	3,719万3	2,400万		1,100万		219万3
宿泊及び体験推進 サポート事業補助	商工観光課	300万	200万				100万
町道道路新設改良事業 吉井・志佐地区【交付金】 上浜線事業費調整	建設課	5,795万	2,050万			3,200万	545万
河川整備事業 河川改修及び浚渫 大素川【交付金】 南川・開作入り川(単独)	建設課	530万	210万				320万
避難場所看板設置	総務課	154万2	100万				54万2
学校図書整備事業 インフルエンザ対策(単独)	学校教育課	461万	380万				81万
9月補正計		1億1,449万	5,780万	0	1,100万	3,200万	1,369万
(A) 地域活性化・経済危機 対策臨時交付金対象事業合計		10億 352万7	6億6,860万	2,365万1	1,100万	3,200万	2億6,827万6

交付金限度額 7億 418万

経済危機対策(地域活性化・公共投資臨時交付金)対応事業

(千円)

事業概要	主管課	予算額	財源内訳				
			公共投資交付金	国庫補助金	県補助金	町債	一般財源
7月補正 (地域活性化・公共投資臨時交付金) 対応事業合計		2,440万6	0	749万2	1,211万4	0	480万
子育て応援特別手当 就学前3年の子全員に支給	福祉課	1,053万5		1,052万6			9
事業追加	農林課	420万			420万		0
緊急雇用創出事業 農委 耕作放棄地データベース化	商工観光課	48万3			48万3		0
子供遊具設置	商工観光課	450万			450万		0
オレンジヒルズ下水接続 【交付金】住宅一般修繕	生活衛生課	1,642万6	600万	585万0			457万6
久賀小耐震化実施設計 小学校修繕	教委総務課	1,187万3					1,187万3
太陽光発電設置【交付金等】 中学校修繕等	教委総務課	1億1,170万5	3,000万	3,420万		340万	4,410万5
東和中太陽光発電設置	教委総務課	3,140万8	1,000万	1,140万		110万	890万8
簡易水道会計繰出金 庄地地区配水管敷設認可申請 消費税追加	財政課	879万4					879万4
9月補正計		1億9,992万4	4,600万	6,197万6	918万3	450万	7,826万5
(B) 経済危機対策(地域活性化・公共投資 臨時交付金) 対応事業合計		2億2,433万	4,600万	6,946万8	2,129万7	450万	8,306万5
経済危機対策関連事業総額 (A+B)		12億2,785万7	7億1,460万	9,311万9	3,229万7	3,650万	3億5,134万1

注) 但し、9月の政権交代により、補正の執行は不確実である！

その他の補正 (主なもの)

	予算額(千円)
基金管理経費(繰越)	1億8,000万
総合支所経費	1,181万3
道路橋りょう維持管理 (用地購入、災害応急工事)	2,879万5
長期借入金元金償還経費 (補償金免除5%以上繰上償還)	2億3,727万8
他会計繰出金	8,651万6
予備費	1,326万6
③ 9月補正計	5億7,136万8
9月補正総計①+②+③	8億8,578万2

その他の議案

議案第12号 周防大島町議会議員の報酬・費用弁償及び期末手当に関する条例及び周防大島町報酬及び費用弁償条例の一部改正について

議案第13号 周防大島町斎場条例の一部改正について

議案14号 周防大島町過疎地域自立促進計画(後期)の変更について

議案15号 和解(久賀不燃物処理場に係る和解)について

以上4議案は可決

町政転流 (14) 政権交代!! この国はどこへ向うのか!

高速道路の無料化・ガソリン税暫定税率の廃止・子供手当の支給等々、国民には心地のいい政策に思える。CO₂25%削減(1990年比)の為、日本はどのくらいの支出が必要なのか?

FTA(自由貿易) 今まで以上に安い魚貝類、農産物が諸外国から大量に入れば、日本の農林水産業はどこに向かって進めばいいのだろうか? 第一次産業だけではなく、全ての産業に大きな影響が考えられる。ムダをなくし、予算を組みかえ、16.8兆円を確保すると言う...。2/3以上完成した八ッ場ダムの建設中止・地域の人、ど

んな気持ちでこの現実をうけとめるのか。産業が衰退すれば、財源そのものが少なくなってしまう。周防大島のように自主財源に乏しい地域に住むものにとって、交付税の減収は命とりにもなりかねない。どうしても心配になるのは私だけだろうか?(小田)



各委員会審査報告

総務文教常任委員会報告

地域防災訓練の早期実現を！



委員長 魚谷 洋一

付託された議案は、いずれも可決すべきものと決定。委員よりの質疑に対し、答弁のうち、主なものについて報告する。

教育委員会関係

備品のAED購入について当初予算に対し、決算額326万5,500円となっているが、入札減によるものか、また、AED

の入札方法は、商社の入札かメーカー直接の入札か、との質問に、入札による減で、入札は、メーカー指定ではなく、同等機種で入札したとの答弁。小中学校の借地で地権者から返してほしいとか、買ってほしいとかの声は無いか、との質問に、今のところは無いとの答弁。耐震診断業務の対象校はどこか、との質問に、久賀小学校の普通教室棟と島中小学校の校舎棟との答弁。学校支援員3人は常時どこの学校と決まっているのか、との質問に、学校からの要望により、優先順位を決めて配置しているとの答弁。学校給食について、学校給食費の滞納状況とその事情はなにか、過年度未納額はいくらか、過年度未納分はいつまで残るのか、との質問に、平成20年度分は24万6,050円、平成16年度からの累計額は84万4,395円で、滞納者数は9世帯、17人であるが4世帯、6人が転出等により5世帯、11人となっている。その後の入金で現在は、82万8,195円の滞納金額である。学校教育法には税法のような時効はないので、関係課と転出・生保等による欠損の取扱い規定も検討中であるとの答弁。

財政課関係では、財産管理費の修繕費は指定管理施設等の主にどの施設の修繕費か、との質問に、高齢者福祉施設「和田苑」「しらとり苑」の空調の修繕や長浦施設の落雷による修理とレストランの空調修理が主なものであるとの答弁。

総務課関係

町全体の防災訓練は実施しないのか、との質問に、

まず防災センターのある久賀地区で実施し、他の地区については年次的に順次実施する予定との答弁。来年度以降に順番と言わず、町民への啓発も含めて、早い時期に町全体の防災訓練を実施されたい、との要望に対し、今後検討したいと思うが、小規模な訓練を中心に考えているとの答弁。また、東和地区では、毎年1月5日と9月1日に訓練をしているが、その時にも町全体の合同訓練をしては、との意見があるので、是非実施されたい、との要望に対し、町全体ということは難しい点もあり、自主防災を主に考えて、具体的には自治会等の単位の積み上げが良いのではと考えるが、今後検討したいとの答弁。顧問弁護士料は、相談ごとに相談料が掛かるのか、との質問に、相談だけであれば月額63,000円の範囲となるが、訴訟等があれば、事件に応じた成功報酬等を別に支払うとの答弁。消防施設費の工事請負費は防火水槽の整備費か、との質問に、平成20年度決算には計上されておらず、防火水槽は合併後整備されていない。平成21年度から整備していくとの答弁。平成19年度作成の安下庄地区のハザードマップについて、マップに掲載している避難場所について所有者の了解を得ていなかったと聞いたが、今回は了解を得ているのか、との質問に、了解を得ているとの答弁。

総合支所関係

総合支所地域支援班の工事で20万円を超える場合は、支所では無理なため、農林課や建設課に相談するようにとのことであるが、災害時等で急を要する場合はどのような対応をしているのか、との質問に、契約等の問題もあり、20万円を超える場合は建設課等をお願いしている。20万円を超えるが、急を要するという場合は工区を分けて対応しているとの答弁。

渡船事業特別会計関係

前島航路待合室の管理について、待合所周辺の管理も含めて、個人に委託するのではなく、自治会等団体に委託してはどうか、との質問に対し、それぞれの航路において、合併前の経緯、また航路運行や島の実状があり、これを考慮したうえで、対応をしたいとの答弁。

各委員会審査報告

民生常任委員会報告

住民の声に応える福祉・医療を！



委員長 尾元 武

本委員会においては、議案の所管事項全般にわたり、十分な審査の結果、全件とも認定すべきものと決定した。

その主なものについて報告する。

福祉課関係

「保育料の滞納について」の質問に対し、催告等しているが引き続き保育所と連携をとり努力する。既卒園者の滞納者は、転出者8人、既卒園者14人との答弁。「社会福祉協議会補助金の対前年度比について」の質問に対し349万350円の増額で20年度は6,139万9千円との答弁。「老人クラブ助成事業補助金」に関する質問に対して、単位老人クラブは1団体あたり補助金は4万5,900円で、連合会については事業内容に基づいて支出しているとの答弁。「福祉関係の補助で全体的に減額になったものについて」の質問に対し、合併後18年度までは財源的に厳しく歳出を絞ってきたが、再度見直しをして減額は無くなっている。各種団体補助は殆んど19年度と同額。「食の自立支援」については町内全て週3回以内に統一しているとの答弁。



民生常任委員会

健康増進課・税務課関係

国民健康保険事業特別会計で、「平成20年

度の資格証と短期被保険者証の交付状況」についての質問に対し、資格証が94世帯130人、短期被保険者証が63世帯の116人とのこと。尚、急病など特別な事情で保険証が必要になった場合には発行が可能。相談内容に応じて臨機応変に対応しているとの答弁。

後期高齢者医療事業特別会計では、「平均保険料はいくらか」との質問に対して平成20年度の周防大島町の平均保険料は、4万9,991円との答弁。

公営企業局企業会計関係

「前年度約6,000万円の赤字が20年度2億5,000万円を超える赤字となっているが、その要因は、また将来的な展望は」との質問に対し、利益積立金繰入れにより翌年度繰越し欠損金は0にしている。赤字要因としては、東和病院の整形外科医の退職の影響が大きいと思われる。今後については、訪問看護ステーションを統合し経費の削減を図り、居宅介護支援事業所については人件費を削減したい。

大島病院は、現在80床を越える病床利用となり、医師も増え収入も増加している。交付税も増額となり経営は改善されると思う。診療単価を引き上げる等の患者負担増や入院単価の安くなる社会的入院等の長期入院患者に退院を強要することは避け、累積赤字もないため、このまま運営していく。東和病院については外科系の医師の補充を一番に考えている。現在の3病院を維持していきたい。との答弁。「大島看護専門学校卒業生の郡内病院への就職状況は」との質問に対し、年に4名から10名の卒業生を採用。他からの採用は少なく90%以上が卒業生との事。



詳細にわたり質疑応答



建設環境常任委員会報告

協定違反には厳しい処分で臨め！



委員長 安本 貞敏

委員（6名）全員出席のもと議案の所管事項全般にわたり、説明を求め質疑を行った。十分なる審議の結果、全員賛成で認定すべきものと決定した。

上下水道課関係

各戸別メータ器の交換は定期的を実施されているかとの質問に、計量法では8年毎の交換が義務付けられ、毎年、定期的を実施しており、平成20年度は2,400件の交換を行ったとの答弁であった。又、下水道事業の見直しについて質問があり、「汚水処理整備構想」を現在策定中で、平成22年3月を目途としているとの答弁。

農業集落排水事業について、秋地区が完了するが、今後の計画は、国・県の補助もないとの答弁。

漁業集落排水事業については、供用開始から12年余り経過し、施設の老朽化が進んでいる。更新事業は起債事業として実施しているとの答弁。その他、各下水道事業の個別負担の割合等についての質問などがあった。

環境施設課関係

町民一人当たりの年間ごみ処理経費と、し尿処理経費について質問があり、燃えるごみについては町民一人当たり5,200円かかり、不燃ごみについては資源化した分の収入分を差し引き、一人当たり600円となり、し尿に

ついては下水道人口を除いた対象人口により算出すると、年間で4,200円の経費がかかった計算になるとの答弁。

生活衛生課関係

公営住宅使用料滞納額について質問があり、滞納合計額は平成20年度末で4,531万876円となっている。明け渡しの強制執行については現在ないが、連帯保証人に通知を行っている。また、古い住宅は補修で対応しているとの答弁。

農林水産課関係

有害鳥獣駆除に関し、イノシシの捕獲についての質問に全力を挙げて取り組んでいるとの答弁。水産課関係では主として種苗放流事業への取り組みの質問があった。

商工観光課関係

町観光協会への補助金に対する質問、なごらスポーツ滞在型施設管理運営経費の中で芝の張替えの質問などがされた。竜崎温泉管理運営経費についての質問では、今回の出来事を教訓とし、今後すべての指定管理施設について、指定管理者とのトラブルが起こった場合にどのように対応するかとの質問に、今後協定違反をしたものは外さなければならないと思うとの答弁。町民の財産であり、税金が使われるので「ケジメ」をつけるようにとの注文がなされた。

建設課関係

増額補正に対し街路灯事業、再編事業に伴うものと答弁であった。

一 般 質 問

新型インフルエンザ対策を問う！

杉山 藤雄 議員

問 ワクチンの確保と接種の方針は。

答 (町長) 国は6,000万人分を超えるワクチンを確保し、10月下旬より供給を始めるとしている。接種の方針は優先接種の対象者として医療従事者、重症化しやすい持病のある人、妊婦、1歳から就学前の幼児、1歳未満の幼児の両親など1,900万人とし、優先接種が望ましい人として、小中高生、65歳以上の高齢者など3,600万人としている。

問 医療機関の受け入れ体制は。



答 (町長) 外来医療はかかりつけの医療機関で受診し、自宅療養を原則とし重症の場合のみ入院としている。山口県ではピーク時の入院患者数を県全体で535人と推計しており、保健所としては当面公立病院での受け入れを考えており、重症者については、圏域内外の医療機関と調整をとりながら対応する予定である。



手洗いの励行！

問 一人暮らしの者が感染した時の対応は。

答 (町長) 医療機関で受診の結果、外出を控え自宅で安静にするようになった場合は、町の保健師に連絡して指導を受けていただく。

避難誘導標識の整備は急務！

魚原 満晴 議員

問 合併時の最重要課題の一つであった、防災行政無線は、この9月から全面運用が開始された。8月には防災公園が供用開始され、県防災センターと併せ、防災対応拠点が完成した。町並びに県の取り組みに敬意を表すが、現実問題として通常の災害時・大雨洪水等の場合には、多くの住民は自主避難施設を利用せざるを得ない。東南海・南海地震対策推進地域に指定され、高齢化率の高い本町には、自主避難施設への避難誘導標識の整備が必要だと思ふ。具



体的な取り組みを考えているか。

答 (町長) 周防大島町の防災対策については、「安心のあるまちづくり」を目指す中で、地震や台風など自然災害に備え、災害から住民の生命・身体及び財産を守る総合的な防災体制の確立を図ることとしている。特に「警報発令時の対応マニュアル」の中で、梅雨時期の大雨洪水警報発令時や、台風時に町職員が配置される避難所が16箇所ある。避難誘導標識の未設置箇所12箇所は、早急に整備したいと考えている。



避難場所の標識

ここが聞きたい!!

4名が登壇

平和市長会議加入と核兵器廃絶！

広田 清晴 議員

問 今年の8・6世界大会ヒロシマに参加後、町長に世界大会の特徴を伝えると共に「広島・長崎議定書」の署名と「平和市長会議」参加を訴えた。認識を問う。



答 (町長) 9月10日付けで加盟申請した。今後町民への啓発啓蒙、各種運動参加などに取り組む。

問 志佐火葬場の跡地整備と、大島斎場の「畳の間」の増設、橋斎場では、通夜・葬儀ができるよう改善を求める。

答 (町長) 志佐火葬場については今年度ダ

イオキシン調査をし、結果を踏まえ県に許可申請をし、解体処分を実施したい。大島火葬場は内部改修、外部改修とも困難。橋火葬場は施設の規模、運用形態、財政的課題を踏まえいましばらく検討させていただきたい。

問 庁舎前にある老人福祉センターは老朽化している。社協財産とはいえいつまでも放置はできない。社協の財政状況等を踏まえれば、町は各種団体が入れるようなことも含め、協議を開始することを求める。

答 (町長) 社協に対する認識は広田議員と一緒に。社協がどのように考えているのか聞いてみたい。

その他 県事業に関わる環境整備、竜崎温泉回数券等考えをただした。

元気な町づくりの為の研修を！

中村 美子 議員

問 これからの自治体は、個性豊かな町づくりを進めなければならない。10年後には自治体いかによっては相当の格差がつくだろうと言われている。個性豊かな町



づくりを進めることは、若い職員の新たな発想、アイデアが必要だがその事を発表する機会がない。指示に従って黙々と仕事を処理していく事も大切なことだが、そのうちに枠にはまった職員になっていくのが実態ではないだろうか。計画により実施された研修よりも民間団体の町おこし奉仕活動

や、町民が協力し合って町づくりに取り組んでいる事例の仲間に入り、一緒に活動して見ることは職員の視点転換になるかと思うが町長の考えを問う。

答 (町長) 職員の研修については出席義務付けている基本講座が今年は10講座、任意の参加予定が27講座、その他東京にある市町村職員中央研修所等任意参加研修メニューがある。本町の場合、自主的な希望があった場合、予算措置が必要なので、問題点を整理検討して行きたい。

基本的な事ですが、明るく気持ちのよいあいさつ、友愛の気持ちで対応していただきたい。



三次市へ職員研修派遣の出発式

契 約 関 係

動産の買入1件・工事請負契約5件を可決

買入品名・工事名	入札執行日	入札者数	落札契約会社	入札金額	落札比率(%)
スポーツトラック	H21年9月2日	10社	ヤンマー農機販売(株)	477万5千円	69.2
H20年度林道文珠屋代(1)線舗装工事	H21年8月28日	12社	大林道路(株)	4,003万7千円	81.7
H20年度樽見～日前航路旅客船建造工事	H21年8月28日	4社	(株)ニシエフ	6,795万 円	98.4
H21年度周防大島町陸上競技場改修工事(走路他)	H21年8月28日	8社	(株)スポーツテクノ和広	6,380万 円	62.5
H21年度周防大島町陸上競技場改修工事(インフィールド)	H21年8月28日	11社	長谷川体育施設(株)	5,250万 円	70.9
H21年度農業集落排水資源循環統合補助事業秋地区マンホールポンプ施設工事	H21年8月28日	5社	(株)山 産	4,750万 円	76.6

議 員 派 遣 ・ 議 員 研 修 及 び 行 政 視 察 の 報 告 ・ 予 定

行事内容	日 程	開催地	参加議員
近畿東和会	9月 27日	尼崎市	魚谷議員
東京東和町人会	10月 18日	東京都	田中議員
近畿大島会	11月 8日	大阪市	今元議員
東京大島郡人会	11月 17日	東京都	広田、田村、中村、松井、久保、荒川各議員
自治研修会	9月 30日	山口市	尾元、今元、中村、布村、小田各議員
行政視察研修	9月29日～30日	福岡市・下関市	安本、松井、田中、杉山、神岡、久保各議員
行政視察研修	9月30日～10月1日	福島県いわき市	魚谷、平野、新山、魚原、田村、平川、荒川各議員
行政視察研修	10月5日～6日	熊本県上天草市 北九州市	尾元、今元、広田、中村、布村、小田各議員

編集後記

シアトル・マリナーズのイチロー選手が大リーグ史上初の9年連続200安打を達成し、実に108年ぶりに記録更新する偉業を成し遂げた。イチロー選手は、野球に対して常に真摯に向き合い、心・技・体を鍛え上げたことが大記録に繋がったのではないのでしょうか。これからはケガに注意し、さらなる高い目標に向かって精進し、多くの野球少年に夢を与えてほしいものです。

国内に目を向けると、自民党長期政権が終わり、民主党を中心とした鳩山内閣が誕生、58年ぶりの本格的政権交代が実現した。脱官僚政治、税金無駄遣いの排除、地域活力の創成、弱者救済等期待することも多くある。しかしながら、7割方進んでいるダム建設工事の中止や高速道路無料化など「政権公約」を盾に即実行に移る新政権の動向に地方として大きな不安もある。一つ一つの状況をよく検証し、臨機応変な政策決定を国民は期待しているのではないだろうか。(布村)



副委員長	委員	委員長	委員	委員	委員
魚谷	小田	平野	安本	布村	尾元
洋	貞	和	貞	和	
一	利	生	敏	男	武